

日本農業遺産認定

たたら製鉄が生んだ奥出雲の農業システム

◆認定を活かした取り組み◆

「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が日本農業遺産に認定されて1年が経ちました。2月18日、奥出雲町農業遺産推進協議会が開催され、今後の取り組みについて協議され、農産品のブランド化の推進や世界農業遺産の認定などをめざして取り組みをすすめることとなりました。

平成31年2月15日
日本農業遺産に認定

認定証交付式の様子



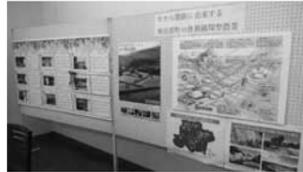
【情報発信】

①講演会による周知・啓発
持続可能な農業・農村を考えるシンポジウム「語り部交流会 inしまね」を奥出雲町で開催



②新聞、雑誌掲載による周知

③パネル町内巡回展示
「日本農業遺産展」としてパネル展示で紹介



④ポスターの作製・掲示によるPRを実施



認定後の取り組み

今後の主な取り組み (予定)

- ・世界農業遺産への認定申請活動
- ・常設パネル展示等によるPR
- ・メディア等によるPR・情報発信
- ・ホームページによる情報発信
- ・農業遺産ロゴマークの選定と活用
- ・農業遺産シンポジウムの開催 など

【農泊の取組がスタート】

町農泊推進協議会が主催する農泊研修会に延べ108名が参加(計3回開催)

【ふるさと教育】

横田高校「奥出雲学」の授業で、高校1年生が考案したシールを農産品に貼りPRを試行的に実施



「小さな親切」運動 杖を贈呈

2月6日、「小さな親切」運動山陰本部から安定した歩行が可能な4点杖が10本贈呈されました。この運動は、高齢者の方や体の不自由な方の利便性や安全性の向上のため、公共施設で使用する品物を贈呈し、利用してもらうことで、明るく住みよい郷土と人間性にあふれた地域社会に寄与することを目的に取り組んでおられます。「小さな親切」運動山陰本部実行委員の(株)鳥根富士通神門代表取締役社長は「ふれあい、思いやりのある社会を作るため、少しでもお役に立てれば嬉しい」と話されました。贈呈された杖は、役場両庁舎などに設置されます。



▲(株)鳥根富士通 神門代表取締役社長(右)

!!おめでとうございます!!

鳥上むらくも会日向側支部

「鳥根県老人クラブ連合会活動大賞」「全国老人クラブ連合会活動賞」受賞

鳥上むらくも会(鳥上地区老人クラブ)日向側支部が「鳥根県老人クラブ連合会 活動大賞」、「全国老人クラブ連合会 活動賞」を受賞し、1月23日、松江市で表彰式が行われ、石原芳弘日向側支部長が出席されました。この賞は、地域の状況に応じた多様な活動に取り組み、他の参考となる活動を先進的に行っているクラブに贈呈されます。鳥上むらくも会では各支部ごとにサロン活動等に取り組み、会員の健康づくり・仲間づくりに役立てておられます。日向側支部では、平成15年の結成以来16年間にわたり、毎月1回のサロン活動を開催し、健康学習・相談と軽スポーツなどの活動を行っておられます。



▲石原芳弘日向側支部会長(右)



令和もやります!! 地域づくりアクション発表会R2

2月3日、役場仁多庁舎にて「地域づくりアクション発表会R2」が開催されました。小さな拠点づくりに取り組む6地区の皆さんが、アンケート等により見つけた課題を解決するために取り組んだ実践活動や今後の取り組みについて発表がありました。6地区の発表の一部を発表順にご紹介します。

亀嵩地区

●子ども達のアイデアを地域づくりに取り入れるため、「いつか帰りたい!と思える亀嵩にするには?」をテーマに亀嵩小学校6年生とワークショップを開催。児童が「亀嵩、高田スタンプラリー」や「そば打ち体験」など7つを提案。

今後の取り組み

- ・子どもたちと協働で夢を実現できる地域づくり
- ・安心安全で助け合い防災の地域づくり など

幅広い世代での意見交換により
新しい視点での発見がありました

地元の方の感想



八川地区

●地区の人々が集う場として平成29年3月に閉鎖した旧Aコープ店で認知症予防のための「健康マージャン」や健康増進のための「卓球」を開催。
●地域資源活用のため郷土資料館のライトアップや八川小学校のイルミネーションを実施。

今後の取り組み

- ・災害時の緊急連絡網づくり
- ・得意なことを活かして手助けし合う生活支援体制の整備 など

地域の資源を
再発見することができました

地元の方の感想



三沢地区

●地域に対する思いを聞く「小さなカフェ」を5回開催。
●生活支援として4月から週1回「古民家オフィスみらいと奥出雲」で買い物サロンを実施。
●空き家を利用し、餅つき体験の実施、地元の方が撮影した写真や作品を展示した「空き家Re活用三沢町まるごとふるさと美術館」を開催。

今後の取り組み

- ・避難訓練+炊き出し訓練
- ・野菜生産販売モデルの構築 など

空き家を活用し、
世代間交流ができてよかった

地元の方の感想



鳥上地区

●温泉とサロンを合わせた「湯快ツアー&サロン2」を斐乃上荘で実施。

今後の取り組み

- ・声を掛け合い、他世代との集いの輪を広げる
- ・同世代の集いの場=多様なチームづくり など

高齢者ワークショップやゲームを行い、普段会えない人と交流できてよかった

地元の方の感想



馬木地区

●地域資源を活用し、賑わい創出を目的に、昨年8月から3回、地域の野菜、手作り惣菜やブリを販売する「あおぞら市」を開催。

今後の取り組み

- ・「あおぞら市」の開催数を増やし、大馬木・小馬木で交互に開催する
- ・馬木お助け隊(仮)を結成し、高齢者生活支援を行う など

美味しい野菜が
安く買えてよかった

集う場ができ、
新しい賑わいが生まれて嬉しい

お客様の感想

地元の方の感想



三成地区

●空き家の軒数や場所など現状を把握するためフィールドワークを実施。
●世代間交流としておにぎり作り体験を実施。
●サツマイモの植え付け、収穫、販売まで行う農地活用イベントを実施。
●三成地区で高齢者・交通弱者の移動手段確保のため10~11月に週2回、加藤医院、奥出雲行院、サンクスを回るルートで「お試し乗合便」を運行。

今後の取り組み

- ・高尾地区でのお試し乗合便運行の実施
- ・子どもと大人が対話するトークフォークダンスの実施 など

便利だけでなく、利用者同士の交流ができてよかった

利用者の感想

